

理事長挨拶



公益財団法人 日本住宅・木材技術センター
理事長 古久保 英嗣

日本住宅・木材技術センターは、木造住宅などにおける木材の利用技術を開発、普及し、関連する産業を活性化することを目的として、昭和52年の設立以来、実物大住宅等における耐火・耐震実験、木造住宅の構造計算方法の確立、木質部材の開発など、その時々的情勢に応じた事業を通じて、成果を積み重ねてきました。

また、「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」及び「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」の制定、木造校舎構造設計標準の全面改正、CLT関連告示の制定などの新たな技術ニーズに応じた各種事業を推進し、木材利用技術・木造建築技術の向上に努めています。

木材を利用した住宅等建築物は、他の構造にはない独特の良さが再評価されるとともに、成熟期を迎えている国内森林資源を生かした地域の活性化や地球環境保全に向けた循環型社会の構築の観点からも、その発展に大きな期待が集まっています。当センターは、このような社会の要請に応え、わが国唯一の木材と建築を結ぶ公的な機関として、調査・研究、試験・評価・認証、情報提供等の事業を積極的に推進し木材と木造建築にかかわる信頼ある技術の向上・普及のために、皆様とともにさらに努めてまいります。